

# 古文ドリル：動詞の活用の種類・活用形 100問

対象：高校生・大学受験生 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：動詞の9種類の活用

古文の動詞は **9種類** の活用形を持ちます。

| 活用  | 例              | 識別法                         |
|-----|----------------|-----------------------------|
| 四段  | 書く・行く          | 「a/i/u/u/e/e」               |
| 上一段 | 見る・煮る          | 「i/i/iru/iru/ire/iyo」       |
| 上二段 | 起く・落つ          | 「i/i/u/uru/ure/iyo」         |
| 下一段 | 蹴る             | 「e/e/eru/eru/ere/eyo」(蹴るのみ) |
| 下二段 | 受く・寝る          | 「e/e/u/uru/ure/eyo」         |
| カ変  | 来              | 「こ/き/く/くる/くれ/こ」             |
| サ変  | す・おはす          | 「せ/し/す/する/すれ/せよ」            |
| ナ変  | 死ぬ・往ぬ          | 「な/に/ぬ/ぬる/ぬれ/ね」             |
| ラ変  | あり・をり・侍り・いまそかり | 「ら/り/り/る/れ/れ」               |

## 活用形の名前

| 活用形 | 続く語        |
|-----|------------|
| 未然形 | ず・む・ば・じ・ぬ等 |
| 連用形 | き・けり・たり・て等 |
| 終止形 | 文末・らむ・べし等  |
| 連体形 | 体言・「に」「を」  |
| 已然形 | ば・ど・ども・こそ  |
| 命令形 | 文末で命令      |

## 識別の鉄則

1. 動詞に「ず」をつけて「ず」の **直前の音** を見る
2. a段 → 四段
3. i段 → 上一段・上二段
4. e段 → 下一段・下二段
5. **特殊形** はカ変・サ変・ナ変・ラ変（個別暗記）

## ナ変・ラ変・カ変・サ変は暗記必須

- **ナ変**：「死ぬ」「往ぬ・去ぬ」の2語
- **ラ変**：「あり」「をり」「侍り」「いまそかり」の4語
- **カ変**：「来（く）」の1語
- **サ変**：「す」「おはす」の2語（複合動詞含めれば多数）

## 上一段「ひいきにみゐる」覚え方

上一段は「ひいきにみゐる」の語呂で覚える： - ひ（干る）・い（射る・鑄る）・き（着る）・に（似る・煮る）・み（見る）・ゐ（居る・率る）

## 🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。  
こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

### コツ① まず「特殊4種」（カ・サ・ナ・ラ変）を消去

9種類を一気に判別しようとするな。特殊4変だけ先に暗記してチェック： - カ変 → 「来」だけ - サ変 → 「す」「おはす」だけ - ナ変 → 「死ぬ」「往ぬ」だけ - ラ変 → 「あり」「をり」「侍り」「いまそかり」の4語

これに該当しなければ、残るは段活用5種（四段・上一段・上二段・下一段・下二段）。

### コツ② 「ず」を付けて直前の音で段を判別（最速）

「ず」を付けて直前の音： - **ア段** → 四段（書かず/a） - **イ段** → 上一段 or 上二段（見ず/i、起きず/i） - **エ段** → 下一段（蹴る） or 下二段（受けず/e）

例：「書く」+「ず」→「書かず」→ア段→四段確定

### コツ③ 上一段は「ひいきにみる」しかない（覚えればOK）

イ段で迷ったら、「ひいきにみる」に入っているかをチェック：-入っている→上一段-入っていない→上二段 下一段は「蹴る」1語のみなので、エ段で「蹴る」以外なら下二段。

### コツ④ 「ず」をつけたら不自然な場合の代替テク

- 命令形で覚えてもOK：「○○よ」で終わるなら上一段・上二段・下二段
- 終止形が「u音」で終わる→四段・上二段・下二段が多い
- 終止形が「-iる」「-eる」で終わる→上一段・下一段の候補

### 試験本番でのチェック順序

1. 動詞を **特殊4変**（カ・サ・ナ・ラ変）か即チェック
2. 違えば「ず」を付けて直前の音を確認
3. ア段なら四段／イ段なら「ひいきにみる」をチェック／エ段なら下一段（蹴る）以外は下二段
4. 活用形は **下に続く語** で判断（ば→未然、けり→連用、体言→連体）

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

### よくある引っかけ

- 「来（く）」をカ行四段と誤答→カ変（特殊）
- 「あり」を四段と誤答→ラ変
- 「死ぬ」を上二段と誤答→ナ変
- 「見る」を四段と誤答→上一段（「ひいきにみる」の「み」）

## 採点表

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

## 【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 活用の種類と活用形を答えよ。

書かず。

Q2. 活用の種類と活用形を答えよ。

見る人。

Q3. 活用の種類と活用形を答えよ。

起きず。

Q4. 活用の種類と活用形を答えよ。

受けず。

Q5. 活用の種類と活用形を答えよ。

死ぬ。

Q6. 活用の種類と活用形を答えよ。

あり。

Q7. 活用の種類と活用形を答えよ。

来けり。

Q8. 活用の種類と活用形を答えよ。

旅す。

Q9. 活用の種類と活用形を答えよ。

蹴る人。

Q10. 活用の種類と活用形を答えよ。

行かば。

Q11. 活用の種類と活用形を答えよ。

寝ぬる所。

Q12. 活用の種類と活用形を答えよ。

過ぐれば。

Q13. 活用の種類と活用形を答えよ。

御覽ぜさせたまふ。

Q14. 活用の種類と活用形を答えよ。

来（く）らむ。

Q15. 活用の種類と活用形を答えよ。

起きたり。

Q16. 活用の種類と活用形を答えよ。

あらず。

Q17. 活用の種類と活用形を答えよ。

仰せたまふ。

Q18. 活用の種類と活用形を答えよ。

見よ。

Q19. 活用の種類と活用形を答えよ。

行く人。

Q20. 活用の種類と活用形を答えよ。

来こ。

基礎編 / 20

## 【第2部】 標準編 (Q21~Q50)

Q21. 活用の種類と活用形を答えよ。

思はず。

Q22. 活用の種類と活用形を答えよ。

出でず。

Q23. 活用の種類と活用形を答えよ。

落ちず。

Q24. 活用の種類と活用形を答えよ。

居ず。

Q25. 活用の種類と活用形を答えよ。

来つ。

Q26. 活用の種類と活用形を答えよ。

行かむ。

Q27. 活用の種類と活用形を答えよ。

寝ば。

Q28. 活用の種類と活用形を答えよ。

死なば。

Q29. 活用の種類と活用形を答えよ。

をりけり。

Q30. 活用の種類と活用形を答えよ。

笑ふ人。

Q31. 活用の種類と活用形を答えよ。

過ぐる人。

Q32. 活用の種類と活用形を答えよ。

受くる人。

Q33. 活用の種類と活用形を答えよ。

居れば。

Q34. 活用の種類と活用形を答えよ。

来れば。

Q35. 活用の種類と活用形を答えよ。

すれば。

Q36. 活用の種類と活用形を答えよ。

思へども。

Q37. 活用の種類と活用形を答えよ。

あれば。

Q38. 活用の種類と活用形を答えよ。

起きよ。

Q39. 活用の種類と活用形を答えよ。

行け。

Q40. 活用の種類と活用形を答えよ。

受けよ。

Q41. カ変動詞「来」の命令形を答えよ。

Q42. 活用の種類と活用形を答えよ。

せよ。

Q43. 活用の種類と活用形を答えよ。

死ぬ。

Q44. 活用の種類と活用形を答えよ。

あれ。

Q45. 活用の種類と活用形を答えよ。

御覧ずる人。

Q46. 活用の種類と活用形を答えよ。

往ぬる人。

Q47. 活用の種類と活用形を答えよ。

鳴きたまふ。

Q48. 活用の種類と活用形を答えよ。

居たり。

Q49. 活用の種類と活用形を答えよ。

落つれば。

Q50. 活用の種類と活用形を答えよ。

あらむ。

標準編 / 30

## 【第3部】 応用編 (Q51~Q80)

複合動詞・敬語動詞・特殊形を含む。

Q51. 活用の種類と活用形を答えよ。

おはしけり。

Q52. 活用の種類と活用形を答えよ。

候はず。

Q53. 活用の種類と活用形を答えよ。

帝、御物を賜ふ。

Q54. 活用の種類と活用形を答えよ。

聞こえたまふ。

Q55. 活用の種類と活用形を答えよ。

奉らせたまふ。

Q56. 活用の種類と活用形を答えよ。

参らせたまふ。

Q57. 活用の種類と活用形を答えよ。

仰することば。

Q58. 活用の種類と活用形を答えよ。

おぼし召す。

Q59. 活用の種類と活用形を答えよ。

大殿籠らせたまふ。

Q60. 活用の種類と活用形を答えよ。

御覧じけり。

Q61. 活用の種類と活用形を答えよ。

せむず。

Q62. 活用の種類と活用形を答えよ。

給はじ。

Q63. 活用の種類と活用形を答えよ。

来ぬる。

Q64. 活用の種類と活用形を答えよ。

行かましかば。

Q65. 活用の種類と活用形を答えよ。

せば…まし。

Q66. 活用の種類と活用形を答えよ。

寝たりし人。

Q67. 活用の種類と活用形を答えよ。

来べし。

Q68. 活用の種類と活用形を答えよ。

過ぐらむ。

Q69. 活用の種類と活用形を答えよ。

あらむ。

Q70. 活用の種類と活用形を答えよ。

思へり。

Q71. 活用の種類と活用形を答えよ。

寝ねたり。

Q72. 活用の種類と活用形を答えよ。

来たらむ。

Q73. 活用の種類と活用形を答えよ。

落ちにけり。

Q74. 活用の種類と活用形を答えよ。

死にけり。

Q75. 活用の種類と活用形を答えよ。

往ぬ。

Q76. 活用の種類と活用形を答えよ。

居たまふ。

Q77. 活用の種類と活用形を答えよ。

見えず。

Q78. 活用の種類と活用形を答えよ。

聞こえず。

Q79. 活用の種類と活用形を答えよ。

来させたまふ。

Q80. 活用の種類と活用形を答えよ。

思はれけり。

応用編 / 30

## 【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

紛らわしい二段活用・特殊動詞・複合形態。

Q81. 活用の種類と活用形を答えよ。

飽かず。

Q82. 活用の種類と活用形を答えよ。

老いず。



Q90. 活用の種類と活用形を答えよ。

着たり。

Q91. 活用の種類と活用形を答えよ。

似たり。

Q92. 活用の種類と活用形を答えよ。

率る。

Q93. 活用の種類と活用形を答えよ。

射たり。

Q94. 活用の種類と活用形を答えよ。

鑄る。

Q95. 活用の種類と活用形を答えよ。

干たり。

Q96. 活用の種類と活用形を答えよ。

越ゆ。

### Q97. 活用の種類と活用形を答えよ。

燃ゆ。

### Q98. 活用の種類と活用形を答えよ。

老ゆ。

### Q99. 活用の種類と活用形を答えよ。

強ふる。

## 採点振り返り

- 基礎 (Q1~Q20) : /20
- 標準 (Q21~Q50) : /30
- 応用 (Q51~Q80) : /30
- 入試レベル (Q81~Q100) : /20
- 合計 : /100

## あとがき

動詞活用の核心： - 「ず」をつけて **直前の音** で判別 - a → 四段、i → 上一/上二、e → 下一/下二 -

**特殊**：カ変・サ変・ナ変・ラ変 - 上一段「ひいきにみゐる」、下一段「蹴る」、ラ変「あり・をり・侍り・いまそかり」は **暗記** - 「賜ふ」は四段（尊敬）と下二段（謙譲）の **両用**

活用は **古文の絶対基礎**。これがわかれば、助動詞接続も判別できる。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太